



NEWS LETTER

武庫川女子大学
女性研究リーダー育成推進センター

vol.2
2024.10

MESSAGE



副学長
女性研究リーダー育成推進センター
副センター長
高橋 享子

本学は、令和5年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型)」に選定されたことを受け、令和5年度には学内での運営体制や研究研修制度等を整備し、令和6年度は本格的に「女子総合大学における挑戦的次世代リーダー育成プログラム」として、様々な取組に着手しています。

具体的には、国内外研究者の知の拠点となる「武庫川女子大学 サイエンス・コモンズ」を開設しました。サイエンス・コモンズでは、関西圏女子大学発・産学連携ダイバーシティ推進ネットワークの参画大学や企業等と連携し、領域架橋横断的重点共同研究を推進するため、各種セミナーや研修プログラムを開催しています。また、新たに制定した博士学生に対するフェロシップ制度や若手女性研究者のための国内外への研究研修制度の選考等を行い、採択者を決定しました。

次世代女性リーダー育成プログラムが、若手女性研究者の裾野拡大や女性研究者の上位職登用などを実現する先駆的モデルプログラムとなるよう、全学一丸となって推進してまいります。

女子総合大学における挑戦的次世代リーダー育成プログラム

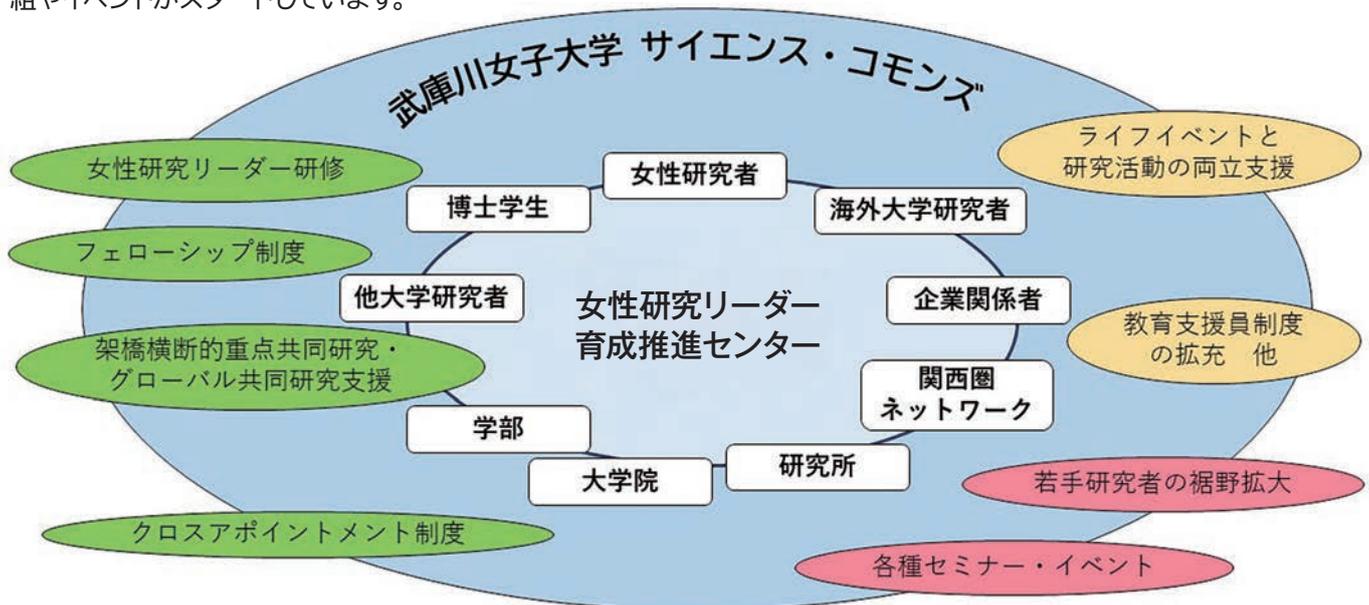
◆ 取組概要 (目標)

1. 研究の高度化と多様性を追求するため、女性研究者の研究力強化に向けた環境整備
2. 多様な知と人材との交流による国際的領域架橋研究の開発
3. 意欲ある女性研究者の人材確保と、共同研究を推進する女性リーダーの育成
4. 女性研究者の大学マネジメントに係る能力開発

女性管理職比率を
40%以上へ

◆ 女性研究リーダー育成推進センターと「武庫川女子大学 サイエンス・コモンズ」の活動

本プログラムの事業を推進するために、昨年11月より女性研究リーダー育成推進センターを新設し、5名のスタッフを配置しました。また、これまで取り組んできた異分野交流会の実績を発展・拡大させ、国内外研究者の活発な研究交流のプラットフォームとして「武庫川女子大学 サイエンス・コモンズ」を開設しました。本年度の活動計画に基づき、様々な取組やイベントがスタートしています。



次世代女性リーダーの輩出

2024年度 各種研究支援制度の採択状況 (2024.9.30現在)

◆女性研究リーダー研修

研究リーダーを担う女性研究者の教育研究能力の向上を図るため、国内外の大学・研究機関に派遣する制度です。2024年度は2名が採択されました。

氏名	吉井 美奈子	大岡 由佳
所属	教育学科 准教授	社会福祉学科 准教授
研修先	Northern Kentucky University	Portland State University
研修期間	2024年8月25日～2025年8月24日	2025年1月16日～3月16日
研究テーマ	米国で日本文化がどのように受け入れられ、共生してきたかについての研究—家庭生活や異文化交流に着目して—	トラウマインフォームドなソーシャルワーク教育の検討

◆架橋横断的重点共同研究・グローバル共同研究支援

女性研究リーダーの育成を加速するため、国内外の教育研究機関及び企業等との分野間領域架橋につながる優れた共同研究を支援する制度です。2024年度は9名が採択されました。

種別	研究代表者	所属・資格	研究テーマ
架橋横断的重点共同研究	設楽 馨	日本語日本文学科 准教授	多文化共生を担う人材育成に資する言語文化探究型プログラムの開発—日本語・日本文学、第二言語習得、国語科指導を横断する問いと探究—
	中村 明美	教育学科 教授	女子大学生のキャリア形成支援に用いるキャリア選択自己効力感尺度の開発
	野上 恵美	社会福祉学科 講師	外国にルーツを持つ児童・生徒の学習意欲に関する社会福祉学的研究
	北村 真理	食創造科学科 教授	保育現場における園児の咀嚼機能向上を目指した食育プログラムの構築
	一ノ瀬 智子	応用音楽学科 教授	多分野介入による認知症予防教室における音楽活動の効果に関する検討—認知機能と呼吸機能の関連に着目して—
	吉田 都	薬学科 教授	女性に優しい! 地球に優しい! 武庫女発フェムテック開発; 抗菌消臭快適サニタリーシステムの提案
	吉川 紀子	薬学科 准教授	血小板をターゲットとしたがん転移治療法の開発
	仁木 洋子	健康生命薬科学科 准教授	抗炎症剤内包紫外光性リポソームの経皮キャリア
グローバル共同研究	中瀬 朋夏	健康生命薬科学科 教授	がん悪液質における硫化水素の役割解明と進行性乳がん治療の新展開

◆大学院フェロースhip制度

次世代の女性リーダーを担う若手女性研究者を育成するための制度です。2024年度は5名が採択されました。

氏名	所属	研究テーマ
管 楓花	文学研究科 英語英米文学専攻 博士後期課程1年	語用論的応答の種類—英語教育における語用論的指導の可能性—
池澤 萌子	建築学研究科 建築学専攻 博士後期課程3年	サン・カルロ・アッレ・クワトロ・フォンターネ聖堂におけるモールディングとその空間的效果に関する研究
奥田 史子	薬学研究科 薬学専攻 博士課程4年	微量金属元素の検出を可能とする蛍光プローブの開発
岩崎 徳子	臨床教育学研究科 臨床教育学専攻 博士後期課程1年	大学におけるトランスジェンダー学生に対するキャリア支援体制に関する研究
大山 紀子	臨床教育学研究科 臨床教育学専攻 博士後期課程1年	大学生アスリートの競技力と個人におけるメンタルヘルス状態との関連について

◆教育支援員制度

本学の上位職(教授以上)の職位にある女性研究者に対して、研究時間の確保を目的とし、教育業務を支援する職員を配置する制度です。2023年度は1名、2024年度は4名が利用しています。

※本制度とは別に、研究者の研究業務を支援する職員を配置する研究支援員制度もあります。詳細は男女共同参画推進課のホームページをご参照ください。 URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/~gsankaku/>

武庫川女子大学 サイエンス・コモンズ オープニング内覧会

「武庫川女子大学 サイエンス・コモンズ」は、研究者が集まり、革新的で創造的なアイデアや夢を共有し、新たな方法や探究を行う研究活動のプラットフォームとして新設しました。5月29日には、学内の教職員や大学院生を対象としたオープニング内覧会を開催し、100名を超える方々にご参加いただきました。

内覧会では、センター長の瀬口和義学長が「女子総合大学であることを活かして、女性だけではなく男性も一緒に、学部を越えた学術的な研究に大人数で取り組んでいきましょう」と挨拶。続いて高橋享子副センター長から本事業の紹介の後、7名の教員による研究紹介コーナーでは、研究テーマを選んだ理由や今後の目標などが披露されました。

参加した教員からは、「学部を超えてつながる場がなかったのでありがたい。人と人がつながることで新たな研究につながると思う」、大学院生からは「周りに大学院に進む人が少なく心細かった。こういう場があると気軽に相談や話ができていいと思う。いろいろな人と交流して、研究の面白さを追いかけていきたい」などの感想をいただきました。会場には、熱い交流が生まれていました。

サイエンス・コモンズは、中央キャンパス研究所棟1階にあります。最寄り駅の阪神鳴尾・武庫川女子大前駅から徒歩5分とアクセスもよく、学外の方がご参加いただけるセミナーもあります。ご活用ください。



武庫川女子大学
サイエンス・コモンズ
【研究者のためのプラットフォーム】
アイデアや夢を語りあい、新たな研究が生まれる場所。

オープニング内覧会開催
5/29(日) 17:30-19:00
(16:30～開場 時間内出入り自由です)

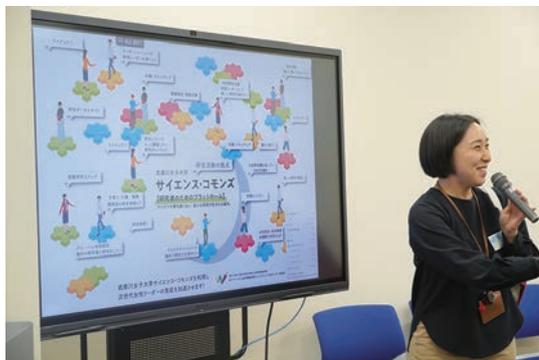
[16:30]・・・内覧会スタート [17:30～19:00]・・・オープニングセッション/今後の活動紹介
※本学女子学生・教職員・関係者限定

研究紹介コーナー
研究テーマを選んだ理由や今後の目標などを発表します。

無料
オープニングセッションでは、
本学の研究紹介をします！
対象：学内関係者・大学院生

今後のイベント
2024年度 KAKEN 公募中! 5/24(金) 応募締切
共同研究支援 公募中! 5/27(日) 応募締切
MUKOJO 研究ポッドキャスト 第1回 6月28日(金) 16:40～18:00 開催決定!

女性研究センター 育成推進センター
0798-45-3506 cewl@mukogawa-u.ac.jp



サイエンス・コモンズ
HPはこちら▶



サイエンス・コモンズ セミナー

研究者のプレゼンテーションを通じて、参加者の分野を越えた研究交流や分野架橋の共同研究につながることを目指し、サイエンス・コモンズにて、月1回程度、17:30～19:30の時間で実施しています。

参加費は無料。他大学も含めた大学・企業等で研究に関わる方・興味のある方であれば誰でも参加でき、オンライン受講 (Zoom) も可能です。

開催報告

- 【第1回】6月19日(水)「ゼロから始める尺度開発と妥当性」 食物栄養学科 前田晃宏 講師
- 【第2回】7月24日(水)「異分野融合研究で考える食の未来」 食創造科学科 本田智巳 講師
- 【第3回】9月25日(水)「地域の視点で考えるヒトと企業」 経営学科 山下紗矢佳 准教授

参加者からは、「ワークショップ形式をとることで参加者を上手く巻き込んでいた。自身の授業運営の参考になった」、「フレキシブルな話を聞いて視点が広がりました」、「自分自身は研究者ではないが、先生方がどのように研究を進めているのかわかることができ良かった」、「もっといろんな学部の人に参加することで多方面での議論ができそう」などの声がありました。



今後の予定

- 【第4回】10月30日(水)「治らない病気から治る病気へ 乳がん治療への新たな挑戦と課題」健康生命薬科学科 中瀬朋夏 教授
- 【第5回】11月27日(水) 【第6回】1月29日(水) 【第7回】2月26日(水)

MUKOJO研究ポットラック

「研究者がそれぞれの研究シーズを持ち寄り、ディスカッションをとおして仲間を見つけ、研究を共有し、新しい研究を育てる」というコンセプトで開催しています。

【第1回】6月28日(金)「女性のウェルビーイングを考えよう」

話題提供:経営学科 高橋千枝子 教授・生活環境学科 竹本由美子 准教授

【第2回】7月25日(木)「地域のダイバーシティを考えよう」

話題提供:経営学科 藤井善仁 助教・英語グローバル学科 加藤丈太郎 講師

【第3回】8月21日(水)「女性のウェルビーイングをもっと考えよう 地域のダイバーシティをもっと考えよう」

第1回目と第2回目のテーマについて振り返り、さらに考えを深めました。

参加者からは、「1万人の学生を有する女子総合大学だからこそできる共同研究を立ち上げたい」、「健康診断を活用した大規模調査による学生の健康管理に関する研究をするのはどうか」など活発な意見が出され、今後の共同研究への一歩を踏み出しています。これからも月に1回程度開催していきます。



大学院生交流会

「大学院のリアル・研究の楽しさを発見しよう!」をテーマに、普段は接点のない大学院生同士に領域を超えたつながりや仲間をつくってもらおうと企画しました。「研究の楽しさ・大変さ」、「研究のモチベーションの保ち方」、「将来の夢・キャリア・ワークライフバランス」などのテーマについて、様々な専攻の大学院生や学部生、教員が参加し、ワールドカフェ形式でディスカッションを行いました。9月9日 14:00~16:00、26名が参加。

参加者からは「いろんな方とお話しをして、良い刺激になりました。またこのような機会があれば、参加したいです」、「分野は異なっても、同じ院生や研究者の卵として様々なお話を共有でき、非常に楽しく、興味深く、そして有意義な時間を過ごすことができました」などの声が寄せられました。

大学院生向けのイベントは、今後定期的で開催する予定です。



KAKEN塾・研究倫理塾

■ KAKEN塾

科研費の応募件数・採択率向上を目指し、「若手研究と基盤研究(C)対象」、「基盤研究(B)以上対象」の2つの「KAKEN塾」を6月から8月にかけて実施しました。

参加者からは「講師からの助言や講話による新たな知見の獲得に加えて、他学科教員との意見交換や交流も大変得難い経験だった」、「専門分野以外の先生から意見をいただけるのは、新鮮でとてもよかった」など、満足度の高い声が多く寄せられました。

■ 研究倫理塾

全3回で開催します。

【第1回】9月21日(土)研究倫理概要

【第2回】10月5日(土)
倫理の空白 動画視聴・ディスカッション

【第3回】10月19日(土)
倫理の空白 動画視聴・ディスカッション/研究倫理審査について



アメリカ ゴンザガ大学による女性リーダーシップ研修

「みとめあう職場文化をつくる」と題し、多様な組織文化づくりに焦点を当てたオンライン研修を開催します。職場のジェンダー格差を学びながら、コミュニケーションやチームワーク、創造性、感性を高めます。対話的な演習や、組織の事例研究、経験豊富なリーダーとの対話を取り入れた研修です。

ゴンザガ大学と中継をむすび、2人の女性教員が講師として研修を進行。使用言語は英語で、参加者は講義を受けるだけでなくグループワークも行います。

プログラム

- 【プレワーク】9月21日(土) ガイダンス
- 【第1週】10月5日(土) 世界を取り巻く女性のリーダーシップの現状
- 【第2週】10月19日(土) 多様性のある組織の構築
- 【第3週】11月9日(土) ジェンダーとリーダーシップ
- 【第4週】11月16日(土) 女性リーダーのモデルづくり
- 【第5週】12月7日(土) 机上から実践へ
- 【意見交換会】12月14日(土) 受講生同士でのふりかえり ※日本語使用

研修講師



Carolyn M. Cunningham, Ph.D.



Sherri Lynch, Ph.D.

女性研究者のためのキャリア・カウンセリング

女性研究者のキャリアパスを支援するために、先輩研究者であるカウンセラーに仕事や進路について相談できる場を設けています。「研究を進めていく上で悩んでいることを、誰かにちょっと聞いてもらいたい」、「大学院に進んだが、博士課程に進むかどうか悩んでいる」など、気軽に相談ができます。

相談日:火曜日・木曜日
相談時間:1回45分を目安に
場所:中央キャンパス 研究所棟(I)1階
対象者:本学女性研究者・大学院生

担当カウンセラー

上田 和子

武庫川女子大学名誉教授/博士(文学)

*2024年4月~女性研究リーダー育成推進センターのカウンセラーとして勤務

上田カウンセラーの専門分野は日本語教育学・日本語教師教育。国内外での大学教員、国際機関専門員など豊富な経験を活かしカウンセリングにあたります。どなたでも研究の悩みや進学、キャリアについて幅広く相談できます。

~ライフイベントと研究活動の両立支援~

以下の、ライフイベントと研究活動の両立支援は、男女共同参画推進課で行っています。詳細は、男女共同参画推進課のホームページをご覧ください。URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/~gsankaku/>

ラビークラブ見学会

「ラビークラブ」は、本学の教職員・学生が男女問わず業務や学業に取り組めるよう学院が設置している一時預かり保育ルームで、西宮市認可外保育施設の基準に従い運営しています。

見学会では、施設の利用方法や、ベビーシッター派遣事業について説明しました。参加者からは「普段保育園に預けているが、平日の夜や土日の単発的な業務のときに預けることができればと思い見学会に参加した」、「子育てをしながら働くうえで、頼る場所の選択肢が一つでも多いと安心」といった声がありました。ラビークラブは、中央キャンパスから徒歩3分と近く、保育士はポピンズファミリーケアに委託しています。



ランチタイムミーティング

女性研究者のキャリア形成支援、教職員間の交流・情報交換を目的とし、定期的で開催しています。

第1回は「研究とプライベートの時間どうしてますか?」と題し、本学教育学科の中村明美教授をアドバイザーに、困りごとの共有とその解決方法や工夫について意見を交換しました。

参加者からは、「普段は話す機会のない先生から他学部の状況を聞いて視野が広がった」、「同世代同士で30代ならではの迷いや悩みについて話すことができ、前向きな気持ちになった。まだまだ話し足りない部分もあったので、また参加したい」などの声が聞かれました。



今後のイベント

◆女性研究リーダー育成のための英語スキルアップ研修プログラム

国際学会等のアカデミックな交流の場での即興的な英語コミュニケーション力を高めることを目的とした、英語スキルアップ研修プログラムです。

講師：ヒューマンアカデミー株式会社RonRead氏

対象：本学教職員および修士・博士課程の大学院生(第1回～第5回すべてに参加可能な方)

開催形式：完全対面・グループワークあり

開催場所：研究棟1階 サイエンス・commons

日時・内容：

- 【第1回】10月19日(土)13:00～14:30 ガイダンス、スピーキング事前タスク(日本語・英語)
- 【第2回】11月2日(土)13:00～15:00 ソーシャライジング(英語)
- 【第3回】11月30日(土)13:00～15:00 ピッチプレゼンテーション(英語)
- 【第4回】12月7日(土)13:00～15:00 ポスター・プレゼンテーション(英語)
- 【第5回】12月14日(土)13:00～14:30 ふりかえり、スピーキング事後タスク(日本語・英語)



◆プレコンセプションケア セミナー

「プレコンセプションケア」とは、妊娠前からのケアを意味します。正しい知識を踏まえて将来の妊娠・出産を選択できるよう今から考えておくこと、産休や育休、子育てなど今から備えておくことについて学びます。ライフイベントと研究活動の両立を支援するセミナーです。

日時：10月23日(水)16:30～18:00

場所：中央図書館2階 グローバル・スタジオ

対象：本学の女性若手研究者、大学院生、学生 ※男性も受講可

講師：永原 郁子 氏(公益社団法人 小さないのちのドア代表)

内容：講演 60分、質疑応答・意見交換 30分

*本セミナーは兵庫県委託事業「プレコンセプションケア講師派遣事業」の一環で実施します。



◆女性研究者交流会 令和6年12月18日(水) 17:00～18:30 異なる分野で新たな気づき!

◆(仮称)女性リーダー育成シンポジウム 令和7年2月21日(金) 13:30～15:30 昨年度に引き続き開催!

◆大学院生交流会 令和7年3月頃を予定 好評につき、第2回が決定!

各種制度の募集時期

制度名	対象	募集時期	R6年度実績
大学院フェロウシップ制度	大学院博士後期課程または博士課程に在籍する女子学生	4月頃	5名
女性研究リーダー研修	専任の女性教授・准教授・講師・助教、嘱託助教	前年度 7月～9月	2名
架橋横断的重点共同研究・グローバル共同研究支援	専任・嘱託の助教以上の女性研究者	前年度 11月～1月	9名
教育支援員制度	上位職(教授以上)の女性研究者	前年度12月 (後期募集7月)	4名

編集後記

10月になろうというのにこの暑さ、本当に地球はこのままで大丈夫なのか!と、地球民の住まう惑星の行末を案じつつ、一方で、前期を振り返ると様々な支援制度がスタート。サイエンス・commonsのオープニング、各種セミナーなど目白押しのイベントや企画に取り組んでまいりました。

中秋の名月もこの暑さで愛でる間もなく、次の企画に五体投地。センタースタッフは後期も走り続けます。次号もどうぞお楽しみに。

サイエンス・commonsをご利用の際は、電話またはメールでご連絡ください!

武庫川女子大学 女性研究リーダー育成推進センター

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町6-46

TEL (0798)45-3506 FAX (0798)45-3686

E-mail cewl@mukogawa-u.ac.jp

事業紹介HPはこちら▶

URL <https://www.mukogawa-u.ac.jp/~cewl/>

